住民投票に関する市民説明会（市長とのタウンミーティングと同時開催）　市民意見要旨

10 月 25 日（日）19:00～20:30　鶴山台北老人集会所

意見概要	市の回答
近年、和泉市の公共施設は和泉市総合スポーツセンターの整備や消防本部の移転など、和泉中央を中心として整備されているように感じている。 市役所は市の顔であり、地図上の位置で論じるべきものではない。 関空とのアクセス良好なＪＲ阪和線周辺が適当と考える。	青葉はつが野小学校横に整備予定なのは、（仮称）中央消防署であり、消防本部については現在の場所から移転しない。 （仮称）中央消防署は、池田分署、松尾出張所を合併して整備するもの。
市の方針として現地と決め、議員から移転を提案された理由は。	市が現地で建て替えとする方針を示したのは、平成８年策定の第３次和泉市総合計画を将来のまちづくりを見通しながら策定し、市を４圏域に分け、「都心」の北西部には市役所があり、「新都心」となる中部には新たなまちができるので出張所を含む和泉シティプラザを作り、北部、南部にリージョンセンターを建設した。２０年前から今後の人口バランスも見据えてまちづくりを進めてきたもので、市としてはこのまま現地で建て替えをしようとするもの。 対して移転を主張する方からは、庁舎は一度建てると 60 年以上残るものであり、現在人口の伸びがあり、位置的にも中心に近く市民の利便性も高いということで、和泉中央に移転すべきではないかとの意見があった。
移転に賛成する議員の主張とは。	行政側から議員の意見を伝えて齟齬が生じてはいけないので、差し控えたい。 比較表に示すメリット・デメリットは、様々な意見を持つ議員に見

意見概要	市の回答
	てもらい、公平な形で表現したものであり、確認いただきたい。
それぞれの立場の議員の意見を聞きたい。	他市でも庁舎位置について議論・討論会を実施している事例もあるかと思うが、今日は行政の住民投票にかかる情報提供のための説明会である。
仮に移転した場合、現庁舎敷地の市有地部分の取扱いはどう考えているか。	現庁舎敷地には３号館とコミュニティセンターが残り、３号館は和泉シティプラザ出張所のような行政サービス機能を設け、コミュニティセンターは引き続き活用する予定で考えており、その他必要分の駐車場を整備した場合、市有地では少し足りず買い足す必要があると考えている。
和泉府中周辺の振興策については考えがあるか。	和泉府中駅前再開発事業も完了したが、今後駅西側の活用も考える必要があり、庁舎の位置にかかわらず、しっかり取組んでいく。
2000 年以降の和泉中央と和泉府中の人口増加率は。	資料が手元にないため、後日回答する。 人口増加は平成 17 年～22 年が大きいが、その後増加していない。 はつが野は学校が受け入れられる生徒数の限界もあり分譲を抑えている状況。
有効投票数の３分の２を超えることを庁舎移転の判断基準とするということだが、３分の２を超えればほぼ決定ということか。	住民投票に法的拘束力はないが、「尊重する」となっている。 議会の決定と住民投票の決定は同じ重さを持つと考えており、行政だけでなく、議会も同じ判断をいただけると考えている。 他市ではねじれている事例もあるが、議会も同様に判断いただけると信じている。最終的には、議会の判断となる。
市民会館（５号館）も同時に除却するのか。	除却する予定。